



3月の園だより

令和8年3月2日
目黒区立不動保育園園長

園庭の桜のつぼみも膨らみ、春の訪れを感じられるようになりました。今月は卒園式があり、5歳児クラスは保育園を巣立つ日も近くなり、2月にお別れ遠足へ行きました。油面公園からスタートし、唐ヶ崎児童遊園、中央緑地公園、碑文谷公園でお昼を食べ、清水池公園、清水町児童遊園(通称チョコレート公園)の6個の公園を周り、5時間かけて園周辺の公園でいっぱい遊んできました。大人はとても疲れてしまいましたが、子どもたちはずっと全力で遊んでも疲れ知らずな体力であることが確認できました。子どもたちが気に入った公園へ保護者の方ともう一度遊びに行き、その公園でクラスの友達に再会し「また一緒に遊んできた」と楽しく遊ぶ様子が聞かれています。残りあと1か月、保育園の楽しい思い出を作りたいと思います。0歳児～4歳児クラスの子どもたちは一つ大きいクラスへ進級します。引き続き、楽しく生活できるように保育を進めていきたいと思っています。1年間たくさんのご協力ありがとうございました。

今月の予定

不動小学校1年生と交流	5歳児
卒園お祝い会	5歳児
幼児お別れ散歩	3～5歳児
お別れ会	

中旬 身体計測・避難訓練 全園児

～クラス移動日について～

荷物の入れ替えなど、新クラスの準備をします。

進級した保育室で現担任が保育します。
※詳細は各クラスに掲示します。
ご理解、ご協力をお願いします。



不動保育園で副園長となり様々なクラスに入り、遊んだり一緒に過ごす中で、戸外に出る前に事務所に寄ると「おはよう」と元気よく挨拶をしてくれて「これから～にいくんだよ。いっしょにいく」と誘ってくれる姿に仲良くなれたことを感じ、とても嬉しく思っています。子どもたちには身近にいる大人の一人として困ったときに助けを求めたり楽しく関われる存在として、保護者の方には子どもたちの可愛さや悩み事などをいつでも共有できる存在でありたいと思います。

(副園長)

一年間の成長した姿



《スズラン組(0歳児クラス)》

保育士のそばを離れずに後追いでいた子どもたちが、今では保育士の元から安心して自分の興味のある所で歩いたり、発見したことを保育士に仕草や言葉で知らせてくれる姿が増えてきました。

最近では自分の経験を少しずつ遊びに取り入れられようになり簡単なやりとりも楽しめるようになってきました。保育士がごっこ遊びの設定をしていると、キラリと目を輝かせながらやってきて手を伸ばし、食べる真似をして「おいしいね」と言いたげにニコッと笑い、「あいつ」と使った玩具を保育士に渡してやり取りを楽しんでいます。遊びを通して身近な大人と気持ちが通じ合う楽しさが芽生えてきています。

《チューリップ組(1歳児クラス)》

自分の経験したことを再現して遊ぶ姿が増えてきました。先日も園庭でマットを木陰に持っていき、友達とピクニックが始まり「これ食べていいよ」「おいしいね」などと可愛いらしいやり取りが聞こえてきました。保育士が「なにを食べているの?」と聞くと「パン」と嬉しそうに教えてくれました。そんな二人のやりとりをみて他の友達も同じように近くで遊び始めます。友達のイメージと自分の経験も合わせながら簡単なやり取りを楽しんでいます。引き続き保育士も一緒に遊びながら一人ひとりの興味・関心を広げ、友達と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じられるようにしていきます。



《タンポポ組(2歳児クラス)》

この一年間で友達との関わり合いがとても増え、「あそぼう」「いれて」「いいよ」などと、友達同士で誘い合って遊ぶことが多くなり、簡単なルールのある遊びも楽しめるようになってきました。絵合わせカードゲームでは、友達のめくったカードが揃うと、自分のことのように喜ぶ姿が微笑ましいです。友達と一緒に遊ぶ中で、「こうしたかったのに」や「これが使いたいよ」というようなぶつかり合いもありますが、保育士が仲立ちに入りながら、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の言葉を聞いたりしながら、相手にも気持ちがあることに少しずつ気が付けるようになってきています。これからも遊びを通して、友達と関わることの楽しさが味わえる経験をたくさん積み重ねられるようにしていきたいと思います。



《コスモス組(3歳児クラス)》

「フルーツバスケット」「だるまさんがころんだ」「猛獣狩りに行こうよ」など様々な集団遊びを楽しんでいます。すぐにルールを覚えて、友達と一緒にフルーツになると「一緒だね」と嬉しそうに笑いあい、「～ちゃんこっち、こっち」と友達同士で助け合いながら楽しんでいます。そんな遊びの中で「～ちゃん、これ一緒にやろうよ」と誘い合ったり、行事で緊張する場面でも友達がいたら大丈夫、とお互いに信頼を寄せあう姿も出てきました。これからも様々な遊びや活動の中で「もっと一緒に遊びたい」「今度は一緒に～してみたい」という思いが持てるようにしていきたいと思います。



《マーガレット組(4歳児クラス)》

「一緒にあそぼう」「入れて」と子ども同士声をかけ合い遊ぶ毎日、自分の思いを主張するだけでなく、保育士が仲立ちする中で相手の思いにも耳を傾けられるようになり、「じゃ、こうしよう」「この前～だったから今日は～にしよう」などとアイデアを出し合い、解決できることも増えてきました。また、周りの友達も「どうしたの?」と友達を気にかけて「こうだったらどうかな」「それはごめんねした方がいいと思うよ」などと一緒に考える姿も増え、心の成長を感じています。これからも友達との様々な関わりを通して、気持ちを伝える力や相手を思う気持ちがより成長するよう仲立ちをしていきたいと思います。

《ヒマワリ組(5歳児クラス)》

この1年間年長として様々な行事を経験し「友達と協力して共通の目的を達成する喜び」を感じてきました。最近では「逃走中ゲーム」を園庭で子どもたちが企画して始めました。「見たことがないからわからない」「ルールが多くて難しい」など「逃走中」を知らない子から伝えられた時に「じゃあもう1回説明するね」「わかりやすいように目印を持つのはどう」など、気持ちを聞いたうえで自分たちでやりやすいよう提案しみんなが納得できるまで話し合う姿に成長を感じました。自分たちで決めたルールで遊びが成立することがとても嬉しい様子で「明日もやろうね」と約束しています。仲間と共に過ごす残り少ない日々を大切に見守りつつ、力を合わせる喜びをたっぷり感じられるよう卒園までの時間を大切に過ごしていきたいと思います。

